



# グローバル N094



こうのす国際交流市民の会

発行責任者 鈴木和子 Tel090-6035-3649

お問い合わせ Email [uchizu1318jcom@zag.ne.jp](mailto:uchizu1318jcom@zag.ne.jp)

発行日 2016年3月16日

桜の開花予想が聞かれる今日このごろですが、まだまだ寒いですね。  
目がかゆ~い、鼻みずが出る、やっぱり春近し~ですね。  
会の花見は、今年は趣向をかえて、<夜桜見物>となりました。  
温かい服装でご参加ください。

## 総会のお知らせ

とき	2017年5月21日(日)	10:00~
ところ	市民活動センター	会議室 D

## お花見のお知らせ

日時	2017年4月2日(日)	16:00~	雨天中止
集合場所	鴻巣公園	ピンクの旗が目印	
持ち物	食べ物、飲み物、敷物		
連絡先	鈴木 09060353649	高井 08059390128	



## お国紹介 <チリ>

皆さんは<チリ>をご存知ですか？太平洋をはさんだ対岸？南米の細長〜い国です。

今回のお話は北本に住まれて30年の大石マリア・オルガさんがそのお友達8人と紹介して下さいました。40人の方がご参加下さいました。



豆と肉をトマトで煮込んだチリカンコン  
チリワインとの相性バツグン  
日本で輸入されるワインはチリが1番です。



マリアさんとお仲間たち



激しく踊る 鶏の求愛のダンス





## 私とフラメンコそしてスペイン

スペイン語クラブ

齊藤 順子

私がフラメンコと出会ったのは 23 年程前ですが、当時は仕事の合間に趣味として前から好きだったダンスを何か習いたいと思い、曜日や時間帯との兼ね合いで見つけたのが、丁度、大宮読売文化センターで初めて開校されるフラメンコ講座でした。

学生時代は、創作ダンス部で自分達の想いや感じたテーマを動きで表現するというダンスをやっていたのでフラメンコは全く初めて！小島章二さんや長嶺やす子さん、小松原庸子さんなどのフラメンコ舞踊家の名前程度は知っていましたが全くの未知の世界でしたので取りあえず 3 か月やってみようと思いきや入会したのが始まりです。

初めは、12 拍のコンパリの出だしは曲のどの部

ず、戸惑う事が多くあり時に 20 名程いた受講生

て 2 名だけになってしま今は大部分メンバーが生

の所でレッスンを受け先生(自称万年 23 歳以外は、みんな若い仲間イベントがある前などは、けでなく、食事を一緒にたりするの恒例になっ

また、初めてスペイン事を少し早めに退職し、ージョ(短期講座)でした緒にスペイン本場の講師とてもワクワクしました。かな単語のアリーバ、マ等々見よう見まねで汗び日は、家のことも忘れて、覚を味わえました。



すがなかなか理解できず、踊分からなのかもよくつかめました。現在その教室に開校で残っているのが私を含め

いましたが、、、。入れ替わったものの同じ先

ています。~自他ともに認めている?)なので、発表会や夏祭りなど先生宅に泊まり、レッスンだ作って食べたり、お喋りをして

に行ったのが 17 年前で、仕わずか 2 週間余りのクルシが、いろいろな国の人達と一からレッスンを受けるのは、その時々聞き取れるわずノ、オトラベス、イグアルっしょりになりながらの毎学生時代に戻ったような感

その時に、同じ日本からの参加者でピソ(セビージャのレオレッ・トレッセにある)が同じだった暁子さん(当時 20 代だった彼女も今は 2 児の母)とは、今年賀状のやり取りをし

ています。

夢のような、セビージャでの生活は、日中はフラメンコのレッスン、夕方から、ちょっとの時間はスペイン語の入門編のような授業、そして、7時頃から近くのバルでの夕食、9時過ぎからはフラメンコを観るためにタブラオへ。帰ってくるのが12時過ぎという毎日でしたが、シェスタの時間の仮眠で疲れも多少とれ、とても充実した日々でした。

ただ、思い返せば、行きも、帰りもハプニングあり。と言うのは、セビージャの空港に降り立った時に、私と暁子さんのスーツケースだけがなくて（どうやら、マドリードに向かう日本人の団体客の荷物と一緒に行ってしまったみたい）、初日は荷物が無いので、ホテル近くで、洗面用具探しにファルマシアを探す事からのスタートになってしまい、翌日ようやく戻ったスーツケースを受け取り、レッスンには間に合ったというエピソードです。

帰りは、飛行機の乗り継ぎのアムステルダムでダブルブッキング！何組かの人が同じ様な状態で、無事帰れるのか心配しましたが、航空会社のミスだったので、空席のビジネスクラスのシートに乗せてもらえました。行きも、帰りも仲良くなった暁子さんと一緒だったので

なんとか、乗り越えられたかな？と今も思っています。

兎に角、スペインに行くなら、観光だけでなく、フラメンコを体験してきたい！と思って、無謀にも単身でスペイン語も話せないまま行ったので、暁子さんとは、母子か、年の離れた友達という感じで滞在中はお互いに頼りあいながら過ごせました。



スペインが外国の中では、私にとって心ワクワクになるもう1つの理由は、元の中学時代の教え子がスペインの人と結婚してマヨルカ島に住んでいるからです。結婚式に招待されて、彼女のご家族と一緒に出かけ、披露宴では突如、花婿の叔父さんから、セビージャナスと一緒に踊ろうと誘われ、それに合わせて親戚の甥達が即興でパルマとカンテで盛り上げてくれたりしたことも懐かしい思い出です。彼女とは、今も交流があり、また行きたい場所でもあります。

何も分からないまま、兎に角まず3か月やってみよう！と思って始めたフラメンコですが、細く長く今に至っています。自分でも習いながら、この楽しさを少しでも分かち合いたいと思い、プリマベラというグループ(田間宮生涯学習センター主催の講座をやらせてもらったのがきっかけで、誕生したグループ)で皆さんと踊り、センター祭りや生涯学習フェスティバル、養護老人ホームや病院に出かけて、踊ったり交流したりするのもメンバーの楽しみや踊りを覚える目的の一つになっています。

折角入れていただいた国際交流のスペイン語クラブも行事等で毎回は参加出来ず、覚えが悪くて遅遅としてなかなか進歩しませんが、講師のリリアナ先生や先輩の皆様から、良い影響を受けマイペースですが続けていき、フラメンコ、スペインと関わって行きたいと思えます。

# ネパールでの異文化生活体験

市川幸二 記



## 【はじめに】

定年退職後、2014/1 から 2016/1 まで 2 年間、ネパール国カトマンズでボランティア活動してきました。2 年の中で、地震、インド経済封鎖があり、ネパール国として大変な時期に見た日本とは異なる生活体験を紹介します。

## 【カトマンズでの生活】

カトマンズは、ネパールの首都であり政治と経済の中心地です。電気はきますが、1日12時間くらい計画停電します。上水道はありますが、週に1、2回水が数時間送られてくる程度です。この水をタンクに貯めて使います。この水はそのままでは飲料できません。下水道もありますが川に直接放流されています。普通の人（金持ちでない人）は、水場（井戸だったり湧き水）で水を調達します。飲料水は、ミネラルウォーターを買います。煮炊きは高さ50cmくらいのガスボンベに入ったガスを使います。普通の人、生活家電（冷蔵庫、洗濯機、TV、掃除機、電子レンジ等）を持っていません。ビクラム暦という太陰暦を使っています。新年が大体4月から始まり1週7日で、土曜日が休日です。祝日が1年に40日程度あり日本と比べてかなり多いです。ヒンズー教の祭だけでなく、イスラムの祭、仏教の祭、キリスト教の祭も国の決めた祝日です。この発想が不思議です。カトマンズでは携帯電話、スマートフォン、インターネットは利



用可能で、若者はほとんどスマホを持って Facebook を使っています。

### 【街の風景】

カトマンズの道は、犬の糞だらけで、時々巨大な牛の糞もあります。家のゴミも道路や川に捨てる人がいます。公共の場所を住民が綺麗に保つことはしません。ゴミ掃除カーストの人を雇った自治体の仕事と思っています。ゴミ収集作業が滞ってゴミ集積場所脇道路がゴミだらけになっても平気です。だれもかたづけません。この感覚は日本とは全く違います。日本の公共の場を綺麗にする感覚が世界的に稀有なものかもしれません。人口に比べて道路が小さく常に大渋滞です。道路の拡幅工事の真っ最中で砂ほこりと排気ガスのため大気汚染がすごいです。

### 【かつかつの生活】

私の活動していた事務所の職員 24 歳男性（妻と子供 1 人を扶養）の月収は、16000 円です。アパート（8 畳程度の広さに、ベットと炊事用具が置いてあります）家賃が 6000 円／月です。携帯電話に 3000 円使っていました。ローカルレストランで 1 食 50-60 円くらいで食事ができますが、いくら食費が安いと言ってもかなり厳しい生活です。携帯電話にそんなにお金使うのかと思います。

### 【地震】

2015 年 4 月に、マグニチュード 7.8 の地震が発生しました。震度 4-5 程度の地震だと思いますが、多くの家が倒壊しました。日本であればほとんど被害がない程度の揺れだと思いますが、レンガ作

りで鉄筋が入っていない人は地震に慣れ数週間、余震で家が倒壊または空き地にテナムながら暮らしています。日本だとライフラインと生きていけません。個別のインフラがない生活をしています。テント生活でも、



ない家が潰れました。ネパールの人は地震発生後壊るのが怖いので、道路をはって身を寄せ合い姿があちこちにありましたが、インが止まると支援がなくなります。ネパールは違う、少ない水と電気に頼るので別にこまらないので煮炊きはガスボンベを外

に持ってくれば問題ないし、崩れたレンガと廃材でカマドもできます。トイレは、家に戻って済ませていました。狭いテントの中で何人もの人が肩を寄せ合って眠るのは大変だと思いますが、ネパール人はいつもやっていることらしいです。もうすぐ地震から 2 年経過しますが、復興は遅々として進んでいません。全世界から相当な額の義援金が集まっているはずなのですが政府が予算を執行できないようです。ゆっくり、ゆっくりは良いのですが、目標を決めて着実に期限どおりに物事をすすめることが苦手なのです。

### 【日本に戻って感じたこと】

カトマンズでは、歩道のそこいら中にある穴に躓かないよう、犬、牛の糞を踏まないように下を向いて、時に歩道にオートバイが走ってこないか気をつけて、猿に買い物袋の食料品をねらわれないように注意して、大気汚染した埃っぽい空気を吸わないように常にマスクをして、必死の覚悟で道

路を横断していたんだなと思うと、日本は、なんと無防備に綺麗な道路を歩くことができることか  
変に感心してしまいました。日本からすると毎日が非日常のネパールでした。



## 語学クラスの紹介

### ★日本語クラブ

授業：金曜日（第5週目は休み）  
午後：7時～9時  
講師：ボランティアの皆さん  
場所：中央公民館  
鴻巣駅から徒歩7分（鴻巣中学校前）  
会費：無料  
学習が大勢になりました。

**ボランティア先生募集**  
一緒に楽しみましょう！

連絡先：鈴木和子 ☎09060353649  
臼田千鶴子 ☎08066381318

### ★スペイン語クラブ

授業：第1，3土曜日午後2時～3時45分  
講師：リリアナさん（コロンビア出身）  
場所：中央公民館  
会費：1回 500円  
連絡先：田上有三（代表） 08013175579  
学習日 4月 8日、市民活動センター  
22日 中央公民館  
☆世の中、これから益々グローバル化が  
進んでいきます。英語以外の外国語も必要  
になってきています。  
スペイン語をみんなで仲良く勉強して、  
これからの人生に役立てましょう。  
みなさんの参加をお待ちしています。

### ★こども日本語教室「りぼん」

授業：土曜日（第5週目は休み）  
午後 1時30分～3時30分  
講師：ボランティアの皆さん  
場所：市民活動センター

（鴻巣駅前 アネックス 3F）  
中央図書館の上です。）

会費：無料

☆このクラスは子ども中心ですが、大人も学んで  
います。子どもは学校の予習、復習、ドリル等を。  
大人は「日常生活に役立つ日本語」等を  
学んでいます。

連絡先：鈴木和子090-6035-3649



### 編集後記

アメリカでは1月20日トランプ大統領が就任、色々な大統領令を発し移民問題、TPP問題からの保護主義などで世界に混乱を招いています。グローバルの世の中でアメリカ第一主義を掲げ、時代に逆行しているように思います。最近ではオバマ前政権を盗聴問題で批判しています。またクアラルンプール国際空港での金正男殺害事件でマレーシアと北朝鮮の国交断絶問題が発生しています。国内では築地からの豊洲移転問題や学校法人「森友学園」問題などが起きています。先行き不透明な世の中ですが出来るだけまわりに惑わされず、生きて行きたいと思います。（文責 田上 有三）